



高齢者・障害者のための

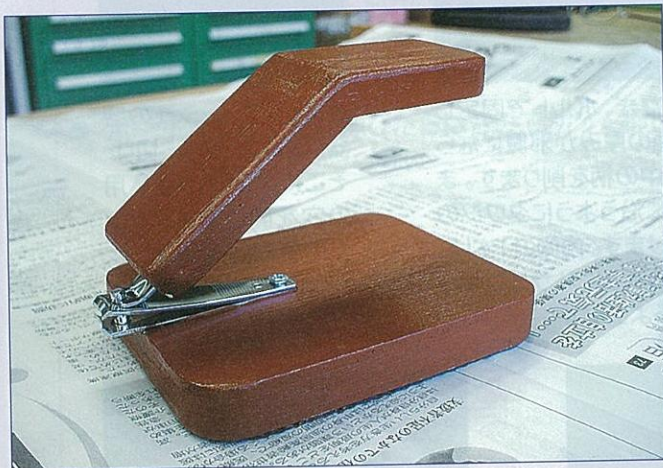
お役立ち手作り 自助具

自助具とは、運動機能などに障害のある人のために、自力で日常生活動作を行えるように工夫して作られた器具・道具をいいます。

提供 / 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 福祉用具プラザ北九州
〒802-8560 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目7-1 総合保険福祉センター1階
TEL. (093) 522-8721 FAX. (093) 522-8771

台付き爪切りを作ろう

片麻痺の方や指の力が弱くなったり指の関節の動きに制限のある方など、自分で爪を切ることが難しい方に使っていただきたい道具です。



使い方

健側の手の爪を切るとき、爪を爪切りに合わせて、もう一方の手でレバーを押して爪を切ります。

レバーを手で押すことが難しければ、椅子または低い台に座り、床に爪切りを置き、爪を爪切りに合わせ、足でレバーを押しても爪を切ることが出来ます。

※このコーナーの自助具は全国の先輩方のアイデアを福祉用具プラザ北九州で製作・改良したものを掲載しています。

材料

- 爪切り (市販品) 1個
- 合板(A) 15mm厚 110×90mm 1枚
- 合板(B) 12mm厚 80×40mm 2枚
- ネジ釘 径4×長さ10mm 1個
- 木工用ボンド 適量
- 滑り止めシート 110×90mm 1枚

作り方

- ①合板Bを図のようにカットし、ボンドで貼り付けます。(図1)
- ②合板Aの所定の位置に爪切りの本体を固定するための溝を彫ります。(爪切りの頭が1cm強台からはみ出るようにします)(図2)
- ③合板Bの所定の位置にも爪切りの柄の部分固定するための溝を彫ります。(図3)
- ④爪切りの本体を合板Aの所定の位置にボンドとネジ釘で固定します。
- ⑤合板Bはボンドで爪切りの柄に固定します。
- ⑥合板Aの底に滑り止めシートを両面テープで固定します。

